

事業所名

さくら総合発達支援センターホープ

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

R7

年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		「個々に寄り添ったきめ細やかな支援」を行います										
支援方針		1. 子どもたちそれぞれの発達に応じた支援を提供します。 2. 子どもたちが今できていることを伸ばす支援を提供します。 3. 子どもたちや保護者が安心して通所できる安全な環境を提供します。 4. 子どもたちの関係機関（小学校、特別支援学校、自治体、医療機関、療育機関）と連携した支援を提供します。 5. 職員それぞれが専門職としての自覚を持ち、学び続け、人間性の向上に努めます。										
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	（あり）	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○社会に出ることを目標に、健康的な生活リズムを維持出来るよう支援し、規則正しい生活を送ります。 ○社会に出るための生活スキル(食事作りや掃除の仕方)の獲得を目標に活動します。 ○本人にとって生活しやすい健康状態の維持、改善に取り組みます。○医療的ケア児の栄養摂取の管理を行います。										
	運動・感覚	○粗大運動・微細運動により、姿勢と運動・動作の基本的技能、身体的体力、移動能力の向上を図ります。 ○遊びや療育を通して五感にアプローチしていきます。 ○感覚特性への対応も行います。										
	認知・行動	○個々の認知の特性についての理解と対応を行います。 ○日付や曜日、スケジュールの可視化を行い、管理出来るようになることを目標に活動します。 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得に向けた遊びや療育を実施します。 ○行動障害の予防、及び対応に取り組みます。 ○自分の得意不得意を知り、自己理解を深めていけるよう支援します。										
	言語 コミュニケーション	○人と人との関係構築のためのコミュニケーションスキルの獲得を目指します。また、コミュニケーション手段の選択をし、その手段を活用出来るよう支援します。 ○他者が発する言語を「音」として耳から取り入れ、発する手段・方法を学んでいきます。そこから発音→発語等言語習得に繋げていけるよう支援します。										
	人間関係 社会性	○他者との信頼関係を築き、情緒の安定を図ります。また、場面や場所に適したソーシャルスキルの選択が出来るよう支援します。 ○ルールのある遊びや集団療育の中で、約束を守って活動し、社会に出るための準備をします。また、集団活動、グループ活動等を通し、仲間づくりと集団への安定的な参加が出来るよう、支援します。										
家族支援		○定期的に情報共有を行い、家族や子どもに必要な事、心配な事、今悩んでいる事等を汲み取り、解決に努めます。 ○ご家族の心理的ケアにも努めます。 ○個々の特性に配慮した家庭環境の整備にも努めます。							移行支援		○切れ目のない支援を毛族出来るよう、就学、進級、卒業等のライフステージの変化にも柔軟に対応し、スムーズに移行出来るよう支援します。 ○ご家族や医療機関、幼稚園保育園、小学校、特別支援学校と密に連携をし、スムーズに移行できるようにします。	
地域支援・地域連携		○小学校、特別支援学校と日々の情報共有や送迎時の安全な受け渡し方法などで連携を図っています。学校での変化等報告を受けた場合、ホープでも対応出来るようにしていきます。 ○依頼があれば、施設の利用がない子どもの保育所等訪問支援も行い、気になる子どもの相談なども受けています。							職員の質の向上		○外部研修への参加(1回以上／年) ○内部研修の実施、参加(1回以上／年) ○資格習得のバックアップ ○ほぼ毎月のカンファレンスの実施	
主な行事等		○食育、運動療育、制作、感覚遊び、プール遊び等の実施 ○外出(公園、科学館、買い物体験等) ○お誕生日会(毎月)、クリスマス会、お別れ会(年度末)										